

太平中学校閉校記念事業実行委員会便り 第2号

令和3年12月22日 閉校記念事業実行委員会発行



第3回 太平中学校閉校記念事業実行委員会報告

令和3年12月16日（木）18時より太平中学校校長室におきまして、「第3回 太平中学校閉校記念事業実行委員会」が行われました。開催されました実行委員会での報告及び協議内容につきまして、お知らせいたします。

○参加者 利部会長 森合副会長 高橋実行委員長 佐々木副委員長
鎌田副委員長 鎌田会計監査委員 畠山校長 高橋教頭

1 「太平中・下北手中・城東中統合準備委員会」の報告

- ・参加した畠山校長、利部会長、森合副会長から統合準備委員会の報告がある。
- ・校舎の利活用については、秋田市から利活用のための管理運営要領をもらった。内容を確認したが、管理組合を作る必要があるなど、検討課題は多い。（森合副会長）
- ・山谷番楽の資料及び物品保管・管理については、現在は山谷小学校の体育館で行っているが、将来的にはもっとよい場所に保管できれば、と考える。（利部会長）
- ・ゆくゆくは番楽の練習を太平中でやればよいのではないかと考える。また、「ありがとうプロジェクト中間発表会」でも話したが、校舎については郷土資料館的な場所にできたらよいと思う。（高橋実行委員長）

2 「閉校記念誌」について

- ・記念誌の構成について、畠山校長から提案がある。生徒のページ（20ページ分）を加えることについて提案があり、委員から了承を得る。
- ・夏（盆）くらいまでに原稿を集める必要があるのではないかと。校正なども含め、完成から逆算して計画を立てたらよいと思う。（鎌田会計監査委員）
- ・随想については、50周年以降のPTA会長、生徒会長、校長に依頼する方向で検討。（次回の実行委員会まで依頼者のリストを作成し、再度検討する。）
- ・バレーボールの利部陽子さん、富樫博之議員、田中淳一医師にも原稿依頼をしたらどうか。
- ・おいだら箕の田口召平さんや山谷番楽の鎌田庫喜さんなどにも原稿依頼をしてはどうか。（鎌田会計監査委員）
- ・記念誌の構成やページ数、原稿依頼者等詳細については今後も継続し検討していくこととする。

3 「記念式典」について

①式典の期日について

- ・当初令和5年3月18日（土）を予定していたが、公立高校入試の二次試験の出願時期と重なる可能性があることから、令和5年3月11日（土）頃を候補日とする。試験日程については来年度にならないと予定がはっきりしないことから、公立高校の試験日程が決まった段階で、正式に式典の日程を決定する。

②式典の内容について

- ・式典については2部構成とする。前半はセレモニー、後半は発表の場とする。
- ・式典主催者は秋田市なので、内容については、今後、秋田市と相談していく。市長や教育長、校長挨拶や校旗の返還などが考えられる。
- ・後半は、①山谷番楽の発表、②ありがとうプロジェクトのまとめ（生徒発表）、③太平中学校卒業生等有志による吹奏楽演奏（「校歌」や「ふるさと」など）にすることについて、委員から了承を得る。

4 各事業の行程案（日程等）について

- ・月に1回、実行委員会を開催していく。次回実行委員会は、令和4年1月後半に実施する。
- ・記念式典、記念誌、語る会の各事業の行程等については、その都度、実行委員会において詳細を検討していくこととする。

5 その他

- ・校内、校地内の美化活動を実施したいが、生徒数、PTA会員の減少により、人手が足りなくなるという現実がある。地域に援助をお願いすることは可能か。（高橋教頭）
- ・小学校のPTAに声をかけてもらえれば、手伝ってもらえることができるだろう。（鎌田副委員長）
- ・地域振興協議会を通じて各町内会長に呼びかけることは可能である。ただし、町内会長全員が集まる機会がそう多くはないので、早めに予定が分かればよい。（利部会長、森合副会長）
- ・合わせて学校支援をHPや校報、チラシなどで依頼・募集してはどうか。（高橋実行委員長）
- ・PTA会員が少なくなるため、閉校までの事業は全て人手不足になると予想される。実行委員も様々な仕事を担当していかなければならない。今後、実行委員会組織については責任者を決めて役割を明確にしていく必要があるのではないかと。（鎌田会計監査委員）

「第3回 太平中・下北手中・城東中学校統合準備委員会」の協議内容については、太平中学校ホームページ「地域・卒業生の皆様へ」に掲載してありますのでご覧ください。